

平成28年度使用教科書の採択について

高知大学教育学部附属中学校

教科 採択教科書	採択理由（内容、資料、表記、表現等）
国語 光村図書	<p>「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域がバランス良く配列されている。また、一つの単元の中で、「読むこと」で学んだことを「書くこと」に継続させられるように配列されているなど、領域をまたがった指導を行うことができるようになっている。教材は、他教科や学校行事、日常生活との関連を配慮しながら選定されている。</p> <p>実践力を高めるために、本校で使用することが適切であると判断した。</p>
書写 光村図書	<p>小学校の既習事項や高等学校書道との関連が見られるとともに、中学校3年間の学習を見直すことができる編成となっている。筆遣いのポイントを色分けするなど、視覚的に分かりやすく表現されている。</p> <p>実践力を高めるために、本校で使用することが適切であると判断した。</p>
地理 教育出版	<p>学習課題がはっきりとしており、学習内容に即した新しい資料が適切に配置されており、見やすい内容構成になっている。また、各単元ごとにふりかえりができるような工夫もなされている。</p>
歴史 教育出版	<p>学習課題がはっきりとしており、学習内容に即した資料が適切に配置されており、見やすい内容構成になっている。また、各単元ごとにふりかえりができるような工夫もなされている。</p>
公民 教育出版	<p>学習課題がはっきりとしており、学習内容に即した資料が適切に配置されており、見やすい内容構成になっている。また、各単元ごとにふりかえりができるような工夫もなされている。</p>
地図 帝国書院	<p>資料が充実しており、生徒の興味や関心を引く工夫がなされている。調べたり、考えたりするための様々な情報が豊富で、生徒にも分かりやすいものである。</p>
数学 啓林館	<p>ノートの書き方やまとめ方、レポートの書き方などがのっていて、生徒が参考にして勉強しやすい。日常生活につながる内容が多くのっている。別冊のMathNaviブックにより、数学の得意な生徒も自分で調べてみようとする内容がたくさん載っている。また、その冊子の中には、中学1年や小学校で学習してきた内容とのつながりを書いているページがあり、苦手な生徒も振り返って考えることができるようになっている。導入部分も興味を引く設定になっている。</p>
理科 東京書籍	<p>物理・化学・生物・地学の各領域において、次の主な項目にポイントをしぼり調査比較した。物理の慣性については、歴史的な関連の説明がある。単元ごとではなく、細かく学びを活かして考える場面がある。化学の化学変化では、実験→考察のポイント→まとめている。生物のDNAでは、歴史的関連や塩基配列の説明までがある。地学の地震では、ゆれの仕組みが分かりやすい。身近なもので多様な実験を掲載している。</p>

<p>音楽 教育芸術社</p>	<p>「音楽学習MAP」があり、目標や、具体的な活動内容、何を学ぶのかがわかりやすく、学習指導要領の「内容」に準拠したバランスのよい学習ができると思われる。同時に、音楽の基礎的な理解力を高め、技能を確実に身に付けることができると思われる。また、日本の伝統的な音楽や外国の音楽についても多くふれ、グローバル化に伴う教材が多く取り入れられている。主体性や創造性を育むうえで大切な「創作」の領域が充実している。</p>
<p>器楽 教育芸術社</p>	<p>音楽の教科書で扱われている鑑賞曲を実際に器楽演奏できるよう取り入れられている。和楽器の基本的な知識や奏法について写真付きで多く載っていてわかりやすい。本校で主に扱うリコーダーの楽曲についても簡単な童謡からクラシックの名曲のテーマや映画の挿入曲などが載っており、色々なジャンルの曲に触れさせることができる。</p>
<p>美術 日本文教出版</p>	<p>A4より横幅が広く、見開きでページ構成しており、図版が大きく色も美しい。印刷の技術の高さが感じられ鑑賞の活動にも十分使える。また和紙の質感を感じられるページもある。図画工作からのつながりを重視しており、1年生も戸惑うことなく美術の授業に入れる。魅力のある見出しの言葉を用いている他、指導要領の観点を、生徒にわかりやすい言葉を使って具体的に「学びのねらい」を示している。実際の授業で取り上げている題材が多く掲載されている。生活とつなげて題材を示しているページが多い。</p>
<p>保体 学研教育</p>	<p>各ページで最初に課題が示されるとともに、授業1時間の流れが把握できるようになっている。絵、グラフ、文章のバランスがよく、使いやすい。各章の終わりに探究が示されており、知的好奇心を高める内容が掲載されている。</p>
<p>技術 開隆堂</p>	<p>本校は高知県全体の研究を牽引することと、教育実習生の育成という背景があり、そのようなことから県内で90%以上の採択率である本書を選択した。また、AB版の東京書籍の教科書は4人で使う作業机では幅をとる。教科の特性として教科書を見ながら作業をする場面では十分なスペースで作業しづらいことを考慮した。 内容は指導要領の観点をふまえ、基本に忠実であり教科が教える内容についてわかりやすい。前回の教科書に比べ、構成も大幅に変更されていない。そのため、授業を展開する際に作成したワークシートや教具の修正や変更が少ない。</p>
<p>家庭 開隆堂</p>	<p>技術分野と前半は同じ採択理由が挙げられる。 内容としては、学習の目標が項目ごとに明確に表記され、さらにその目標達成のための課題設定が導入に掲載されている構成が本校の研究を深めるものと考えられる。また学習方法なども掲載されており生徒の学習が深められると考えられる。</p>
<p>英語 三省堂</p>	<p>Get→Use→Mini Project という流れで、基礎的事項の習得→統合的な活動へのつながりが学習者にもわかりやすく配列されている。また文化的背景や国際理解の観点に立った題材が多彩で豊富であり、知識の習得にとどまらず質の高い学習が期待できる。1単位時間で扱う英文の量が少なめで Slow Learner にも無理のない分量であることに加え、授業で教科書を扱う時間を少なくすることで帯活動の充実につながられることなどを考慮し、本書を採択した。</p>